

日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト

バグ医師選抜 講習会

団 長：根来 信也（団長）

河村 亜希（国際部）

金井 英樹（国際部）

横田 良介（宮城県柔道整復師会）

五反田重夫（兵庫県柔道整復師会）

酒井 重数（富山県柔道整復師会）

指導者候補：エンフタイワン・トゥブシンバヤル、

バトムンク・アルタンエルデネ、

ダシュラウダン・ボロルトゥーヤ

オユンバートル・ダリルチュルン

ムンフバートル・ボロルチメグ

ツァガンサルから2週間経過し、モンゴルの気候も少しずつ暖かくなってきた中で、本講習会が開催された。今回は地方から11名のバグ医師と1名の准看護師、附属大学ダルハン校のFirst aid clubの7名、計19名で行われた。中には過去2回本講習会に参加し、先週までトゥブ県で開催していた講習会に参加した後受講している医師もいた。今回も勉強熱心な医師たちが集まり、講師陣も身が引き締まる思いであった。開講式でバイガル教授から本プロジェクトの趣旨説明が紹介され、参加者には是非ともこの講習会を通し地方の患者さんのために役立てて欲しいとエールを送った。また地方では外傷に対する応急処置が以前よりも格段にレベルアップし、固定材料の適切な使用により高度な固定技術が身についてきているとモンゴルの医療の現状をはなされた。我々のプロジェクトだけがこのような結果を導いているわけではないが、少しずつ本プロジェクトの効果が波及してきている結果ではないかとうれしかった。

日 程

2月24日：講義第1日目

通訳：トゥブシン、アルタイ、ダリア、D ボルロー、M ボルロー

(1) 開講式挨拶 - AM10:00~10:30

①モンゴル国立健康科学大学附属看護学校 バイガル 先生

②日本柔道整復師会 国際部 根来 信也

(2) 講義—AM10:30~PM0:15 前回の復習：肘関節脱臼（横田）、肩関節脱臼（河村）

PM0:45~3:30：肋骨骨折理論・実技（横田）

(3) 臨床実習—PM3:40~6:00 基本包帯法、頸部の手技療法：指導者候補生、ダルハン FAC



開講式でのバイガル先生の挨拶



前回の復習（河村）



肋骨骨折実技（横田）



臨床実習（指導者候補生、ダルハン FAC）

25日：講義第2日目

通訳：トゥブシン、ダリア、Dボルロー、Mボルロー

- (1) 講義—AM8：40～AM11：30 鎖骨骨折理論（五反田）
 PM12：00～3：00 鎖骨骨折実技（五反田）
 PM3：00～3：30 固定材料準備
- (2) 臨床実習—PM3：30～6：40 冠名包帯法、膝の診察と治療（指導者候補生、ダルハン FAC）
- (3) テキストブック打ち合わせ—AM10：00～11：00 根来、金井、アマルサイハン、ツェレンダグア

テキストブック印刷に向けて打ち合わせを行った。ブックサイズ、仕様材質など細かい内容を協議し、後日、印刷業者との打ち合わせに向けて準備することとなった。



テキストブックの打ち合わせ



鎖骨骨折理論（五反田）



鎖骨骨折実技

26日：講義3日目

- (1) 講義—AM8：00～11：30 下腿骨骨折理論、固定具作成（金井）
 PM0：00～3：10 下腿骨骨折実技（金井）



下腿骨骨折理論



下腿骨骨折実技



固定具作成

- (2) 臨床実習—PM3：20～5：20 上腕骨外科頸骨折の復習（指導者候補生）
 ＊諸事情により五反田帰国

27日：講義4日目

- (1) 講義—AM8:00～9:00 下腿骨骨折総復習（金井）
AM9:10～11:30 上腕骨外科頸骨折理論・実技（酒井）
PM0:30～3:10 上腕骨外科頸骨折実技（酒井）
- (2) 臨床実習—AM11:30～12:00 橈骨遠位端骨折（指導者候補生）
PM3:20～5:20 診察の手順と評価、カルテ記載方法（指導者候補生）



上腕骨外科頸骨折理論



上腕骨骨折実技



臨床実習（橈骨遠位端骨折）

本日アマロ先生のご紹介で外傷を負った患者さんが大学に訪れた。橈骨遠位端骨折、肋骨骨折、足関節脱臼骨折の症例で、今までレクチャーを受けた指導者候補生に柔道整復師の指示のもと臨床実習の一環として治療を行わせた。医療面接、患部の病態把握、整復、固定、管理指導などすべてを彼らの手で行うことでスキルアップを図った。戸惑うことなく流れるように処置ができ彼らの成長度合いが伺えうれしかった。

28日：筆記試験、実技試験

- (1) 試験実施上の説明 AM8:00～8:15
筆記試験 AM8:15～8:35
実技試験 AM8:50～11:00
解答解説、総評 AM11:00～11:30
- (2) 閉講式 AM11:30～11:45
- (3) 臨床実習 PM0:00～2:30 （足関節果部骨折、膝関節症）



筆記試験



実技試験



修了した受講生と

受講した方の中に 3000 人の人々を全て一人で治療しているという女性バグ医師が参加していた。彼女は以前も受講し予てから再講習を希望したようだが、今回の講義で学んだことが活かされる症例が日常数多く来院するようで、自らのスキルアップも然ることながら、自分の助手にも今回の講義内容を教えたいと話していた。またエルデネット県からきたバグ医師は山奥で様々な厳しい面があるが、スポーツをしてケガをする人が多い特徴があり、今回学べなかった内容をぜひ地方で行って欲しいと要望していた。我々もまだ訪れていない地方に向かい、困っている人々を助けるために今まで受講された先生方と現場で仕事ができることが願いであり、将来的に実現できたらいいと感じた。



バグ医師とダルハン FAC



臨床実習（足関節脱臼骨折）



臨床実習（膝関節症）

また今回大学の先生から痛みの相談を受け、治療する機会を与えていただいたおかげで、指導者候補生に対する臨床実習を数多く行うことができた。またご家族でケガをされた方も連れてきていただき、骨折など重症例の実際を指導することができたのは非常に有意義であった。今後臨床施設による後進への指導が重要となってくるが、まずは学内で痛みを抱えている学生、先生方にご協力いただくようバイガル先生にお願いし同意を得た。